

3 アンケート調査結果

～ 教 頭 ～

3 アンケート調査結果 ～教頭～

(1)回収状況

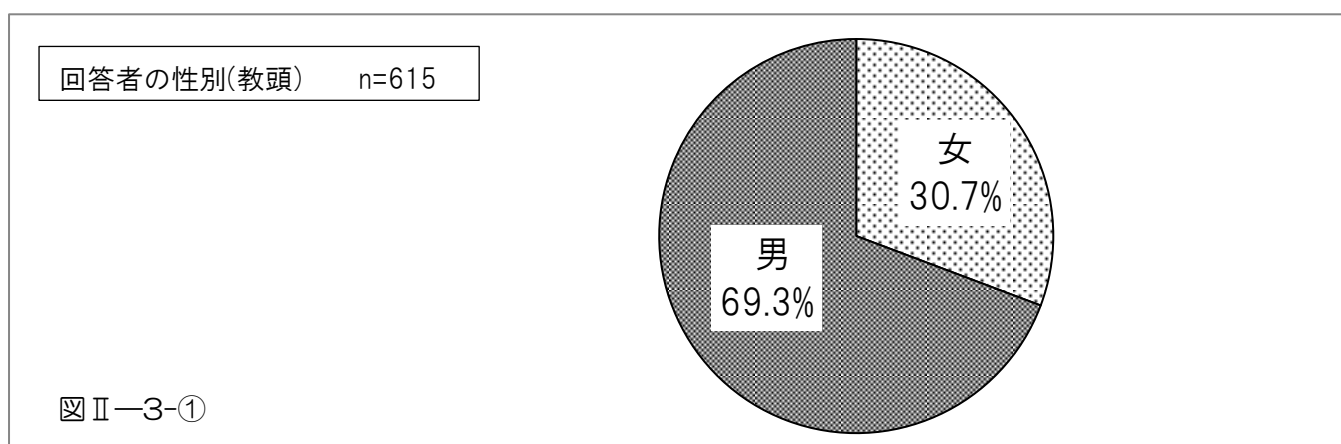
表Ⅱ-3-① 調査対象とアンケート回収率（教頭）

校種	学校数(校)	対象者数(人)	回答数(人)	回収率
小学校	378	381	367	96.3 %
中学校	165	166	154	92.8 %
高校	61	80	76	95.0 %
特別支援学校	15	21	18	85.7 %
県全体	619	648	615	94.9 %

※ 教頭の複数配置等により、学校数と調査対象人数が異なっている。

回答者についておたずねします。

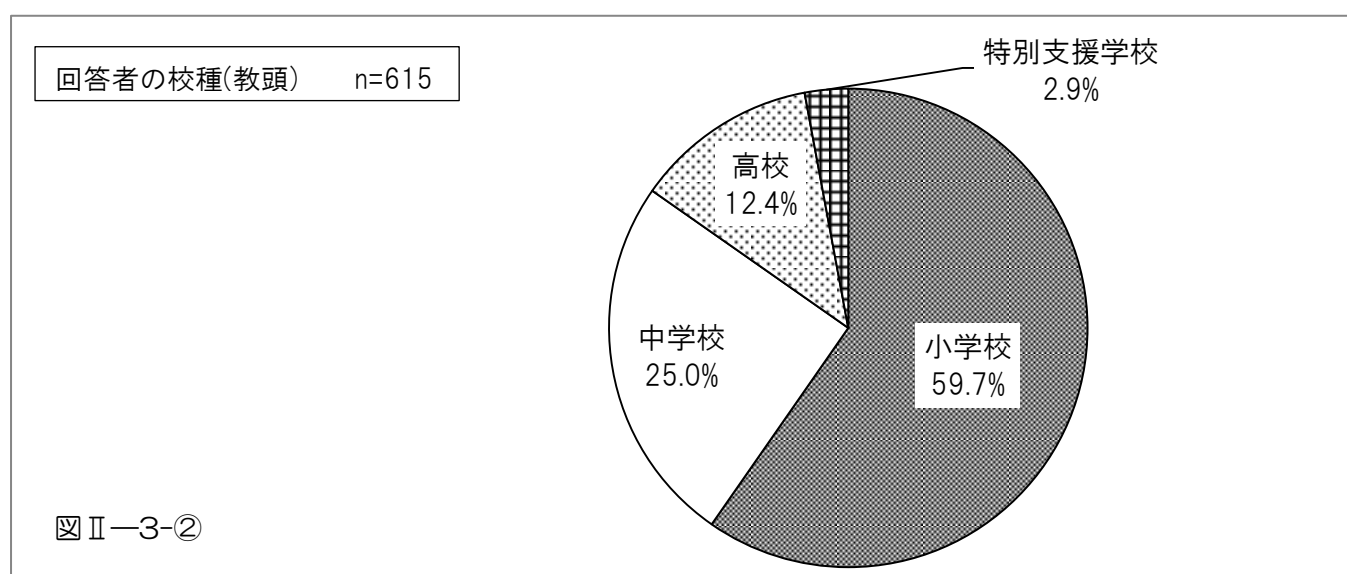
(1)性別を教えてください。



回答があった教頭については、女性が 30.7%、男性が 69.3%となっている。

回答者についておたずねします。

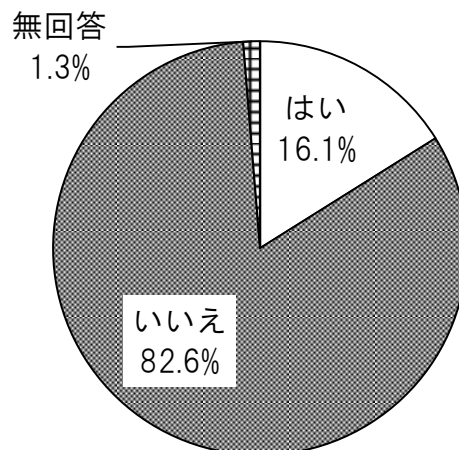
(2)校種は何ですか。



回答者の校種については、小学校 59.7%、中学校 25.0%、高校 12.4%、特別支援学校 2.9%となっている。

社会教育主事の資格をお持ちですか。

社会教育主事資格の有無(教頭)
n=615

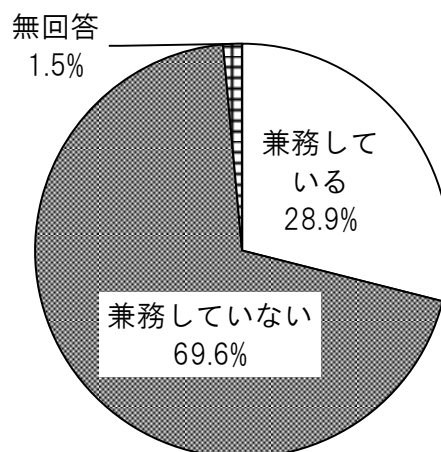


図Ⅱ-3-③

社会教育主事有資格者は全体の16.1%となっている。

地域連携教員を兼務なさっていますか。

地域連携教員の兼務(教頭)
n=615

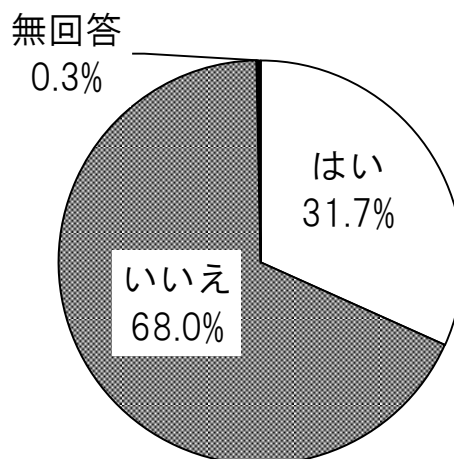


図Ⅱ-3-④

地域連携教員を兼務している教頭は28.9%、兼務していない教頭は倍以上の69.6%である。

行政職の経験はありますか。

行政経験の有無(教頭) n=615

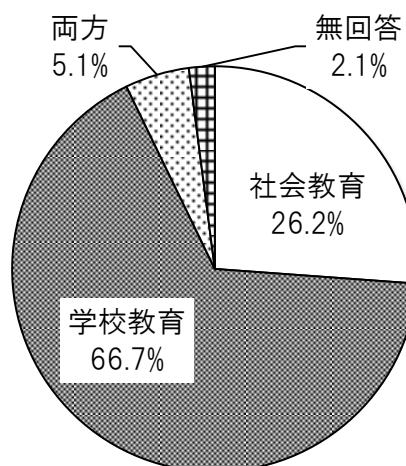


図Ⅱ-3-⑤

「行政経験がある」が31.7%で、「行政経験がない」は倍以上の68.0%となっている。

行政経験ある回答者の職種(教頭) n=195

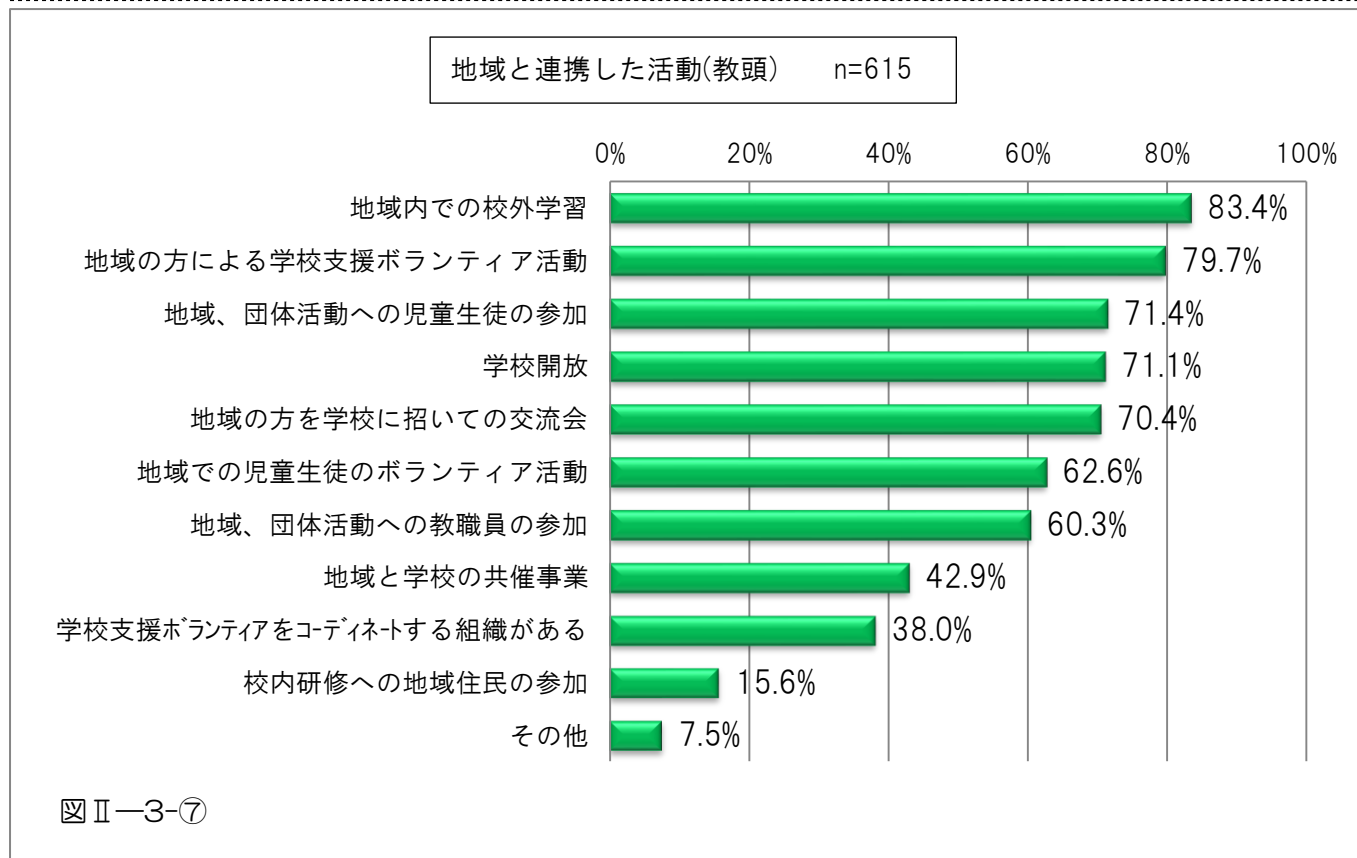
社会教育関係
(社会教育主事、副主幹、社会教育施設指導主事 等)
学校教育・学校管理関係
(指導主事、管理主事、副主幹 等)



図Ⅱ-3-⑥

「行政経験がある」と答えた回答者の中で、社会教育関係の職種は26.2%、学校教育関係の職種は66.7%、両方の職種を経験した回答者は5.1%、無回答2.1%となっている。

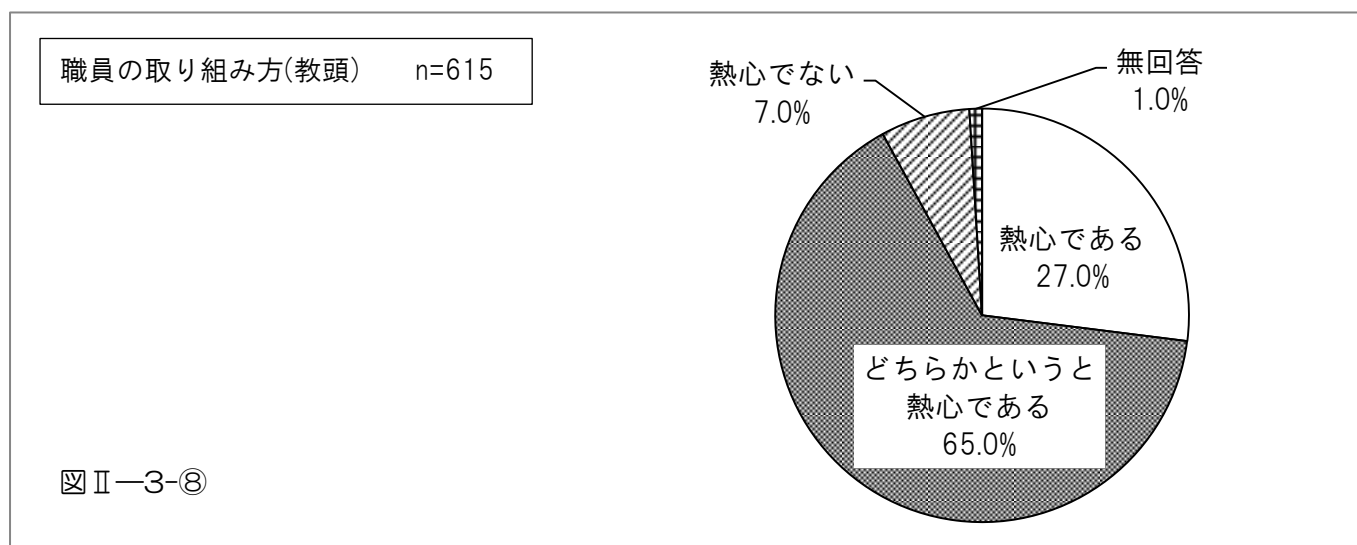
貴校では、次のような地域と連携した活動を行っていますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。



回答が最も多かったのは「地域内での校外学習」で 83.4%、次いで「地域の方による学校支援ボランティア活動」で 79.7%である。「地域、団体活動への児童生徒の参加」「学校開放」「地域の方を学校に招いての交流会」の3項目については、最大で 1.0 ポイントの差でほとんど差が見られない。

(その他の記述については、P11~12 参照)

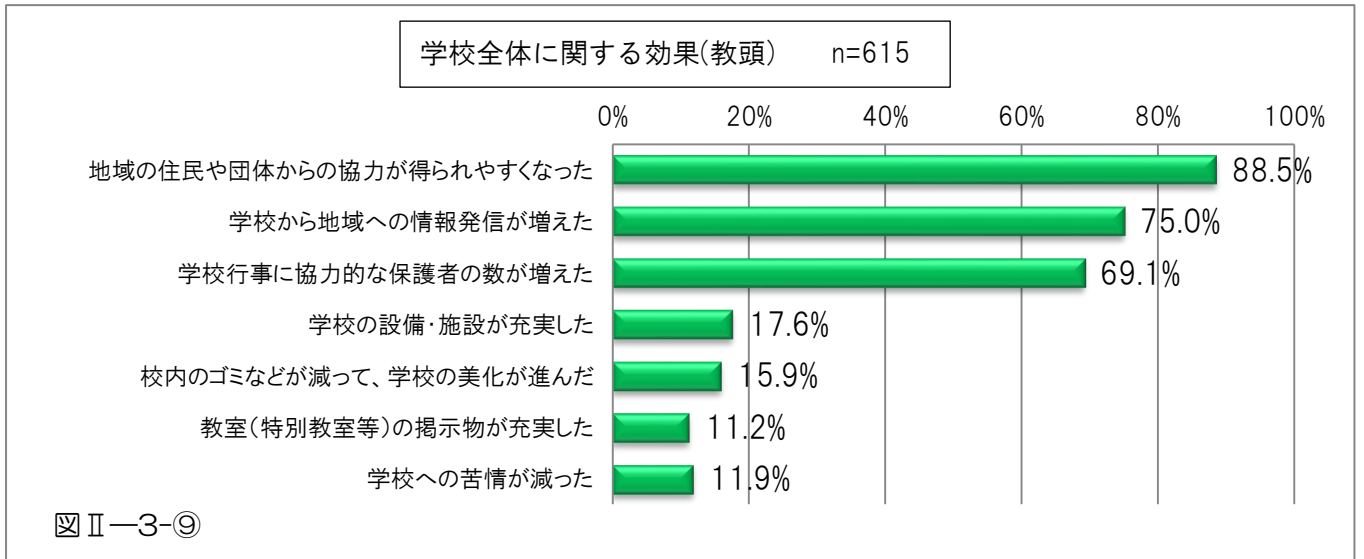
貴校の地域連携に際して、職員の取り組み方はいかがですか。



「熱心である」が 27.0%、「どちらかという熱心である」が 65.0%で、2つの回答を合わせると 90%以上となり、職員は熱心に取り組んでいることがわかる。

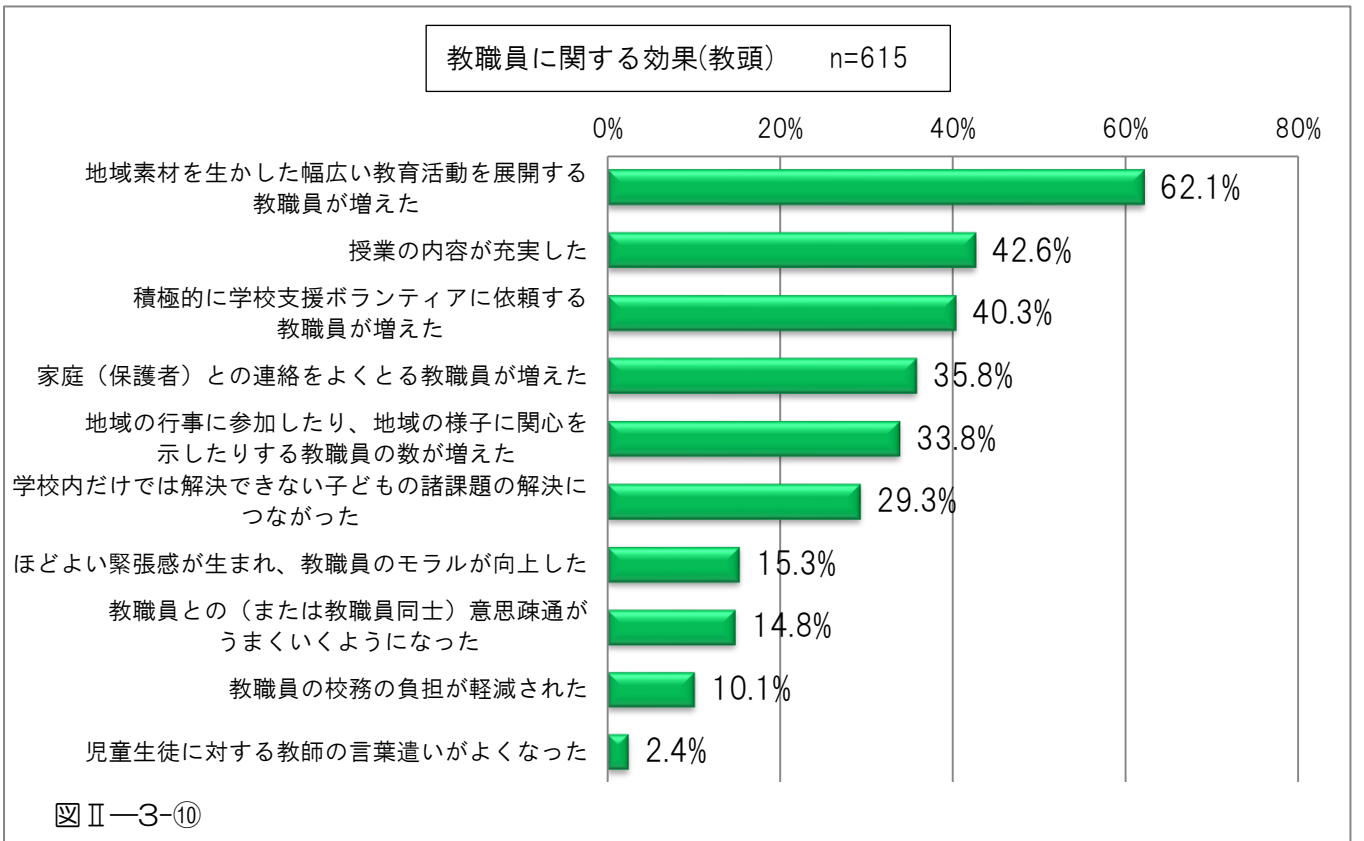
地域との連携活動により、学校経営にどのような効果があったと思いますか。次の①～⑫について、【学校全体】【教職員】【児童生徒】【地域社会】のカテゴリごとに、もっとも当てはまると思われる項目3つに○を付けてください。

【学校全体】



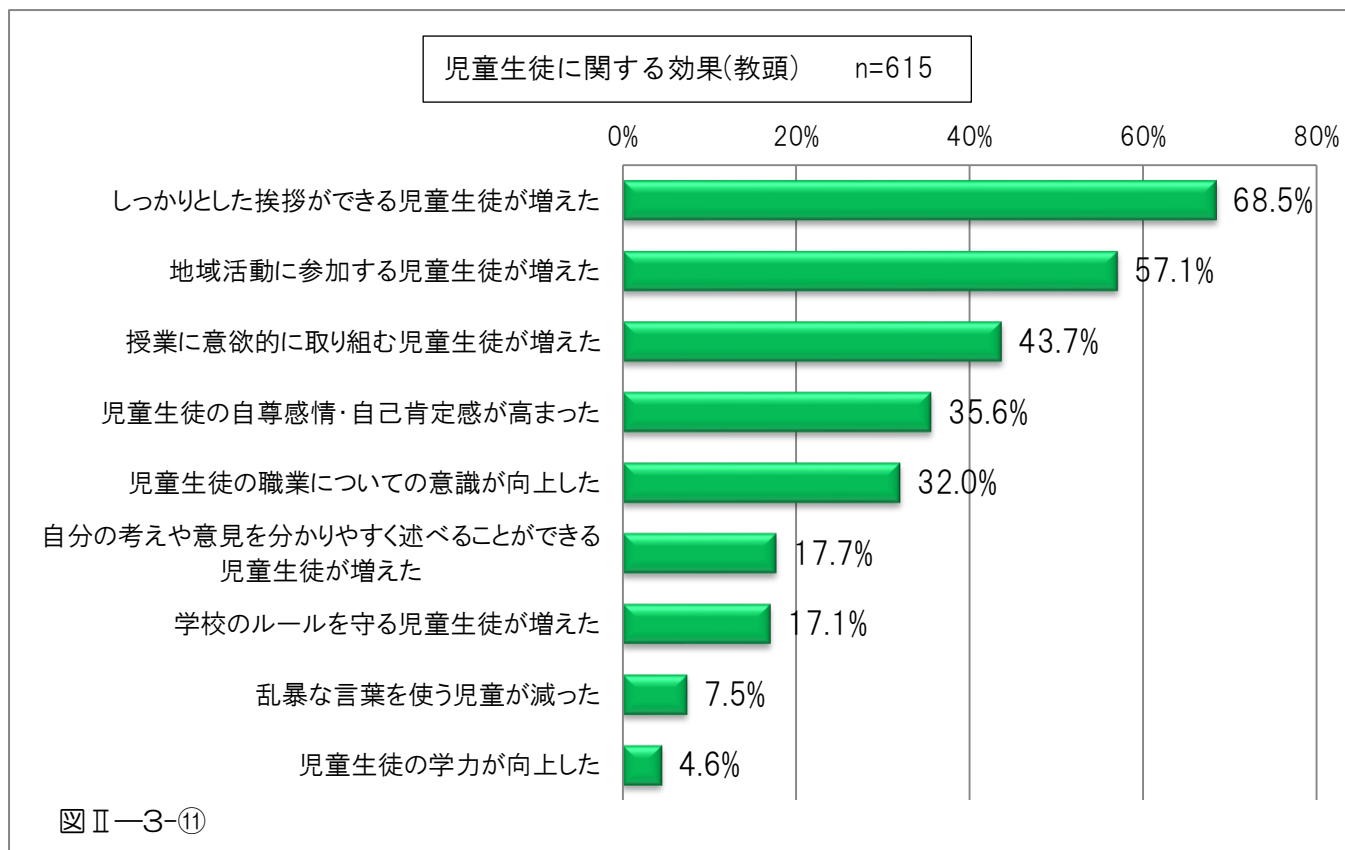
学校全体に関する効果があったと思われる活動について、「地域の住民や団体からの協力が得られやすくなった」が88.5%で最も高い値を示している。また、「学校から地域への情報発信が増えた」が75.0%、「学校行事に協力的な保護者の数が増えた」が69.1%となっている。これら3つの項目で高くなっている。

【教職員】



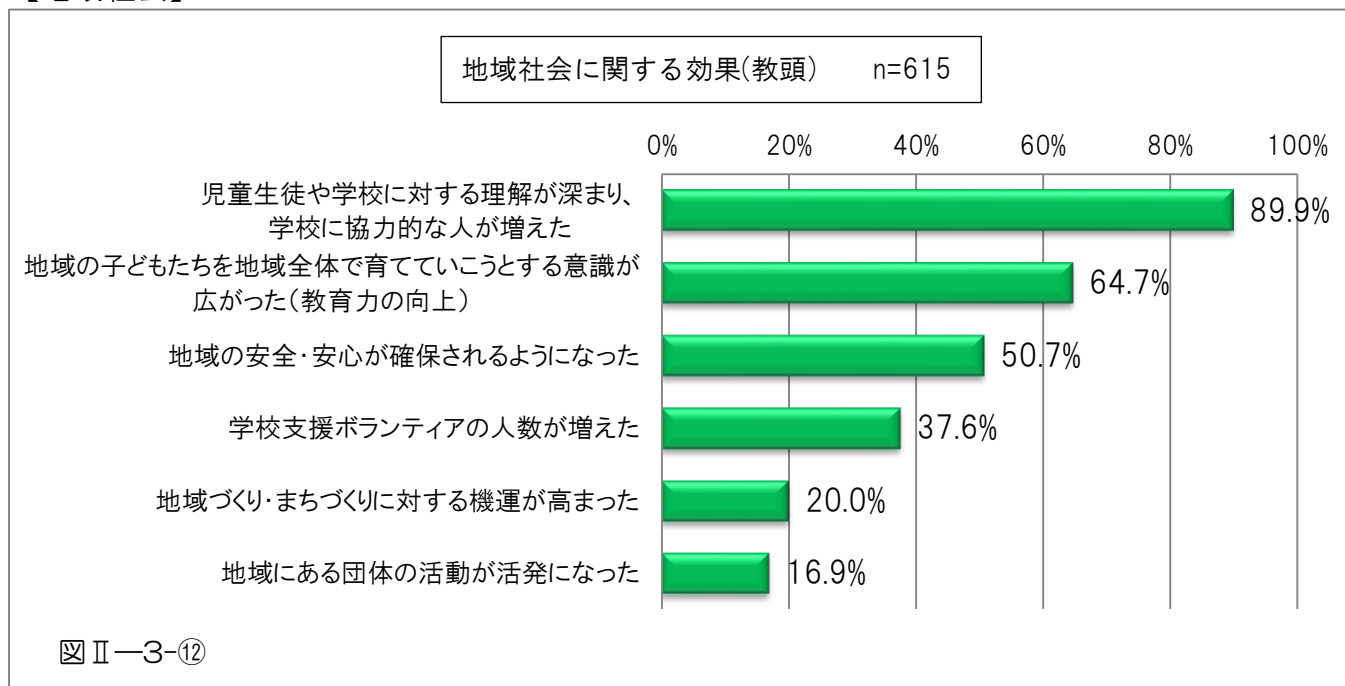
教職員に関する効果があったと思われる活動について、「地域素材を生かした幅広い教育活動を展開する教職員が増えた」が62.1%で、特に高い値を示している。

【児童生徒】



児童生徒に関する効果があったと思われる活動について、「しっかりとした挨拶ができる児童生徒が増えた」が68.5%で、最も高い割合を示している。次いで、「地域活動に参加する児童生徒が増えた」が57.1%で、これら2項目において、選択した回答者が過半数を超えている。

【地域社会】



地域社会に関する効果があったと思われる活動について、「児童生徒や学校に対する理解が深まり、学校に協力的な人が増えた」が89.9%、次いで「地域の子どもたちを地域全体で育てていこうとする意識が広がった」が64.7%で高い値を示している。

その他、地域連携が学校経営に与える効果について、お気づきのことがありましたら、自由にご記入ください。

◎学校全体

《学校運営・管理》

- ・地域との連携なしで学校経営を考えることはできない。地域連携がよい効果をもたらしている。
- ・学校経営ビジョンを具現化する上で、地域連携は必要不可欠であると考えます。
- ・地域の力を学校に取り込めることは学校の教育力向上に大きく貢献する。
- ・学校と地域が連携することは、小・中・高・特支という異なる校種の児童生徒が交流することにもなり、各校種の連携・協働を生かした学校経営が進むと考える。
- ・学校は元々地域に必要とされ、地域に育てられてきたところが大きいと思われる。小・中・高・特支の違いはあるにせよ、地域との連携がうまくいっているか否かで、学校経営は大きく変わってくる。
- ・地域の教育資源を把握した上で、特色ある学校づくりに生かすことができる。

《信頼・協力》

- ・開かれた学校づくり、信頼される学校づくりにますますつながっていくと思われる。
- ・学校と地域との信頼関係が構築できる。
- ・開かれた学校づくりを推進することになり、学校が地域の一員として期待される存在になる。
- ・学校に対する理解がさらに深まる要因となった。そのことで、学校の諸活動で地域の協力を得やすくなる。
- ・学校と地域との連携によって、お互いの状況等、情報を共有化することで、学校と地域が一体となって、学校と地域がともに活性化し、発展することが期待できる。
- ・情報を共有することにより、地域と学校との信頼関係や協力関係など好ましい関係づくりができる。
- ・学校が持つ資源と地域が持つ資源（ともに人的なもの、プログラムのなもの、エリア的なものなど）の相互活用が可能となり、その過程で各資源のさらなる充実発展が期待できるのではないか。

《その他》

- ・学校は地域の成熟度に合わせて、学校を開いていかなければならないと思う。ただし、コミュニケーションを通して啓発していくことも重要である。
- ・学校外の各種機関および外部人材との連携が効果的に進めば、より質の高い学校教育が低コストで実現する可能性はあると考える。
- ・いじめ、不登校等、学校が抱える課題を地域と共有して解決していく上で効果が期待できる。
- ・特別支援学校においては、地域におけるセンター的な役割を果たしていくために、地域連携を行うことが重要である。
- ・高校は広範囲から生徒が通学してくるため、地域連携の範囲をどの辺までと考えるのか、また生徒自身に学校周辺の地域への理解も深めさせていく必要がある。
- ・本校の特色を地域に発信できる。

◎教職員

《意識・考え方》

- ・教員の活動意欲の向上につながる。
- ・教職員の意識が校外へ(地域へ)向くようになってきている。
- ・教職員が、保護者だけに任せることのできない時代であることを鑑み、地域と教職員が連携して、子どもを育てる時代に来ていることを自覚できた。
- ・校内ではなかなかできなかったことや、指導不十分なところを、地域社会の教育力を得ることで、教職員の意識も向上し、校内に活気を与えていると思う。

《校務》

- ・教員の負担が軽減される面があるが、連絡調整の方法など工夫することも必要である。

◎児童生徒

《学力等》

- ・地域の教育資源を学校教育の中に取り込むことによって、児童が安心感の中で学びが展開できるし、郷土愛を育むことができる。
- ・より高度なあるいはより専門的な教育内容に、生徒が触れる機会が増えた。
- ・本校では、ボランティア活動等、生徒が地域に働きかける様々な取り組みを実施しており、地域理解、職業理解、自己肯定感の向上、学習や将来に対するモチベーション向上につながっている。今後、地域人材を校内に導入、活用することの効果や可能性について検討が必要である。

《社会性》

- ・学校経営に地域の方が関わることで、学校と児童生徒への理解が深まる。そのことにより、児童生徒の地域への所属意識が高まり、地域のエネルギーも高まる。
- ・学校の教育活動を地域連携の視点で見直し、生徒の活動が地域に密着していけば、生徒の自主性や社会性のさらなる向上が期待できる。
- ・生徒達が「地域の中で生きていく」「地域を自分たちが支えていく」という意識を強く持つようになる。
- ・児童が様々な人材（地域教育力）とともに活動する場ができ、キャリア教育的効果が感じられた。
- ・生徒が、地域の様々な職業・立場の方と接することにより、生徒の社会性が身につくと同時に職業観の形成にもつながるなど、キャリア教育の面からも有効であると考ええる。

《人間性》

- ・地域における社会体験学習や各種体験活動は、規範意識の向上や豊かな人間性の育成に効果的である。
- ・生徒が地域に対し積極的に関われるようになるとともに、地域の方々の学校理解と、生徒理解につながっている。また、地域の方々との交流活動を通して、生徒のコミュニケーション能力や他人を思いやる心の醸成につながっている。
- ・生徒が地域の中で活躍できた経験は、自己有用感を高める効果がある。豊かな人間性の育成につながっている。高校に対する地域の期待の大きさを感じ取り、さらに学校の活性化につながりうることを期待している。

《その他》

- ・子どもたちに学校の外側（外部）を体験させることができ、将来への展望や抱負を抱くことを促す。
- ・地域の教育資源活用による学力向上や行事の工夫だけではなく、普段の校外での児童生徒の安全確保にもつながると予想される。

◎地域社会

《意識》

- ・地域の学校教育に対する関心が、より高まることが期待される。
- ・地域連携が進むと、地域の子は地域で育てようとする気風が強まってくる。
- ・地域ぐるみで「人づくり」「学校づくり」に取り組もうとする機運が高まった。
- ・PTA会員ばかりでなく、OBをはじめ地域の方々が、学校に関心をもち、児童を見守ってくれる。

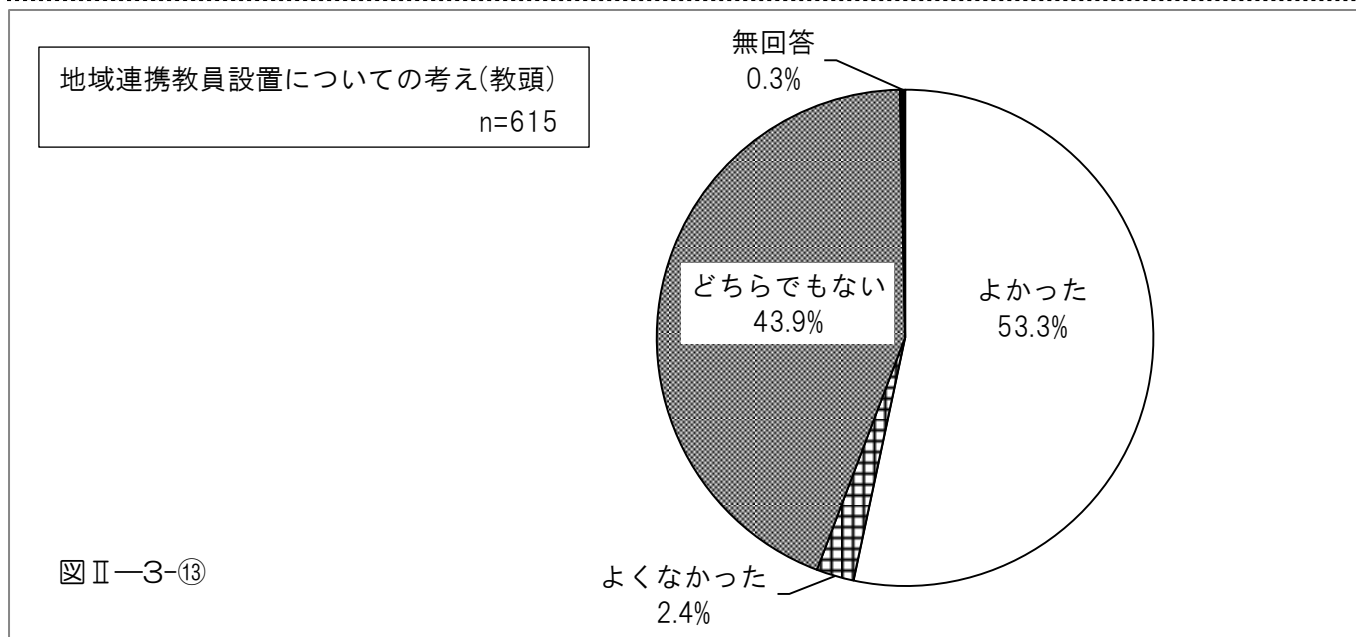
《理解》

- ・地元企業からの学校理解が深まり、就職希望生徒にも有益な状況が生まれてきている。
- ・地域の団体と交流することにより、本校の児童・生徒や特別支援教育の指導方法等について理解していただけた。

《その他》

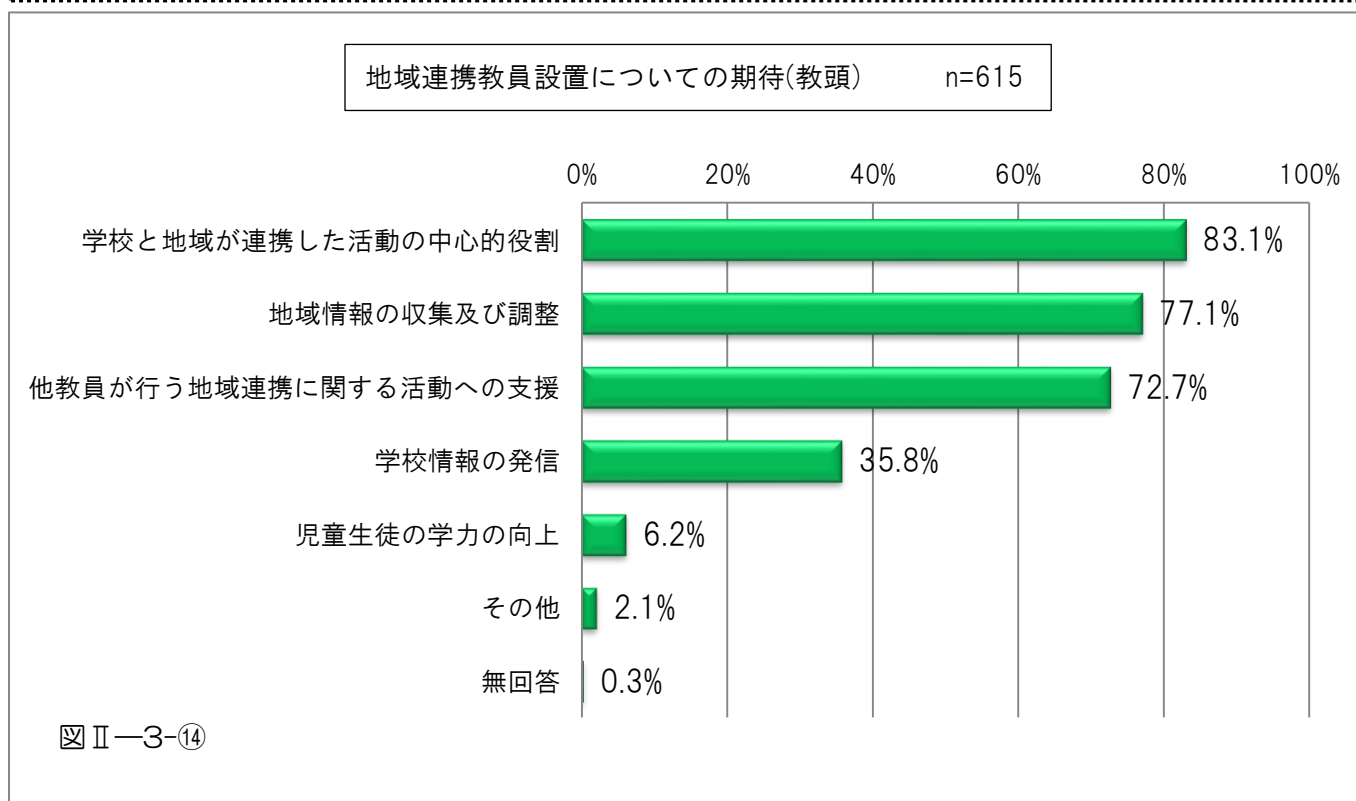
- ・人のネットワークが広がり、校外の資源を見つけやすくなる。
- ・地域の各団体の活動が活発になり、多くの方が教育活動に参画していくなかで、次の代の地域指導者の育成に資することになる。
- ・学校在学中、そして学校卒業後も児童生徒は地域の中で生活している（生活していく）。地域連携の活動を通して、地域の障害児理解が深まれば、子どもたちにとって住みよい社会になる。

学校経営上、地域連携教員の制度について、どのように考えますか。



「よかった」という回答が53.3%で、過半数を超えている。「よくなかった」という回答が2.4%、「どちらでもない」という回答が43.9%となっている。(理由記述については、P17 参照)

地域連携教員にどんなことを期待していますか。当てはまるもの3つまで○を付けてください。



地域連携教員設置に対する期待については、「学校と地域が連携した活動の中心的役割」が83.1%、次いで「地域情報の収集及び調査」が77.1%、「他教員が行う地域連携に関する活動への支援」が72.7%で、これら3項目において、高い値を示している。(その他の記述については、P18 参照)